平成31年第1回山田町議会臨時会会議録（第1日）						
招集告示日	平成31年 1月21日					
招集年月日	平成31年 1月24日					
招集場所	山田町役場5階議場					
開閉会日時 及び宣告	開会	平成31年 1月24日午前10時00分			議長	昆 暉雄
	閉会	平成31年 1月24日午前10時52分			議長	昆 暉雄
応（不応）招議員 及び出席議員並び に欠席議員 出席 12名 欠席 1名 欠員 1名 凡例 出席 ○ 欠席 △ （不応招）×	議席番号	氏名	出席等の別	議席番号	氏名	出席等の別
	1	阿部 幸一	○	8	関 清貴	○
	2			9	阿部 吉衛	○
	3	佐藤 克典	○	10	坂本 正	△
	4	黒沢 一成	○	11	菊地 光明	○
	5	田老 賢也	○	12	山崎 泰昌	○
	6	木村 洋子	○	13	吉川 淑子	○
	7	尾形 英明	○	14	昆 暉雄	○
会議録署名議員	5番 田老 賢也		6番 木村 洋子		7番 尾形 英明	
職務のため議場 に出席した者の 職氏名	事務局長	福士 雅子		書記	齋藤 絢介	
地方自治法第 121条により 説明のため出席 した者の職氏名 凡例 出席 ○ 欠席 △	職名	氏名	出欠	職名	氏名	出欠
	町長	佐藤 信逸	○	長寿福祉課長	菊池 ひろみ	○
	副町長	甲斐谷 義昭	○	健康子ども課長	野口 伸	○
	副町長	吉田 雅之	○	建設課長	昆 健祐	○
	技監	香木 和義	○	建築住宅課長	芳賀 道行	○
	総務課長	佐々木 真悟	○	建築住宅課主幹	佐々木 政勝	△
	総務課主幹	倉本 收郎	○	上下水道課長	中屋 佳信	○
	財政課長	古舘 隆	○	消防防災課長	中村 光宏	○
	復興企画課長	甲斐谷 芳一	○	教育長	佐々木 茂人	○
	会計管理者兼 税務課長	白土 靖行	○	教育次長	箱山 智美	○
	農林課長	川口 徹也	○	生涯学習課長	後藤 清悦	○
	水産商工課長	武藤 嘉宜	○			
	町民課長	川守田 正人	○			
議事日程	別紙のとおり					
会議に付した事件	別紙のとおり					
会議の経過	別紙のとおり					

平成31年第1回山田町議会臨時会議事日程

平成31年 1月24日(木) 午前10時開会

・開 会

日 程 第 1 会議録署名議員の指名

日 程 第 2 会期の決定

日 程 第 3 議案第 1号 陸中山田駅舎条例

日 程 第 4 議案第 2号 平成30年度山田町一般会計補正予算(第5号)

平成31年 1月24日

平成31年第1回山田町議会臨時会会議録

午前10時00分開会

(議事日程等別紙)

午前10時00分開会

○

○議長(昆 暉雄)

定刻になりましたので、平成31年第1回山田町議会臨時会を開会します。

ただいまの出席議員は12名であり、定足数に達していますので、会議は成立しました。

参考までに申し上げます。欠席届の出ている者は、10番坂本正君であります。

ここで、執行部側の欠席者について申し上げます。建築住宅課の佐々木主幹が公務出張のため欠席することをご報告いたします。

なお、やまだ議会だより及び広報やまだ編集のため、議場内での写真撮影、また報道機関の議場内でのビデオカメラ撮影を許可したことを申し添えます。

○

○議長(昆 暉雄)

これより直ちに本日の会議を開きます。

○

○議長(昆 暉雄)

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、山田町議会会議規則第114条により、5番田老賢也君、6番木村洋子さん、7番尾形英明君、以上3名を指名します。

○

○議長(昆 暉雄)

日程第2、会期の決定をお諮りします。

会期は本日1日限りにしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(昆 暉雄)

異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日と決定しました。

○

○議長(昆 暉雄)

日程第3、議案第1号 陸中山田駅舎条例を議題とします。

提案理由の説明を求めます。復興企画課長。

○復興企画課長（甲斐谷芳一）

議案第1号 陸中山田駅舎条例の制定について、その提案理由と内容についてご説明申し上げます。

当該施設は、三陸鉄道リアス線の陸中山田駅の駅舎として復興交付金の効果促進事業及びJRからの寄附金を活用して町が建設したもので、鉄道をはじめとする公共交通機関を利用する方の待合所であるほか、観光情報及び物産情報の発信拠点として位置付けようとするものです。

この条例は、地方自治法第244条の2第1項の規定により、公の施設の設置及び管理に関し必要な事項を定めるため制定しようとするものです。

以下、条例案についてご説明申し上げますので、条例本文をご覧ください。

第1条は、設置の主旨を規定しようとするものです。

第2条は、施設の名称及び位置を定めようとするもので、施設の名称を陸中山田駅舎とし、位置を山田町川向町7番23号と定めます。

第3条は、施設の利用者の行為の禁止について定めようとするものです。各号で禁止する行為を規定しております。

第4条は、損害賠償について定めようとするものです。

第5条は、この条例の委任について定めようとするもので、条例で定めるもののほか、必要な事項は規則で定めることを規定しています。

附則は、この条例の施行日を定めるもので、平成31年2月1日から施行しようとするものです。

以上、提案理由の説明と制定条例の内容についての説明とさせていただきます。ご審議のほどよろしく願いたします。

○議長（昆 暉雄）

質疑を許します。8番。

○8番 関 清貴議員

設置条例については内容と条立て、このとおりだと思うのですが、これに対してここを将来的というか近い将来に指定管理者として、この施設を指定管理者制度を利用して、有効に利用するというこの考え方があるかどうかお聞きしたいと思います。

○議長（昆 暉雄）

復興企画課長。

○復興企画課長（甲斐谷芳一）

現時点では指定管理者制度は考えておりません。

○議長（昆 暉雄）

8番。

○8 番関 清貴議員

そうすれば、設置目的にあります物産情報の発信拠点とするということがあるのですが、これは町中心に情報発信をしていくというふうに解釈できるのですが、そのとおりでしょうか。それとも別の観光団体、地域商社等、物産情報いろいろあるかと思いますが、それらも活用しながらこの駅舎をうまく観光資源として発信していくのかどうか、その辺をお伺いいたします。

○議長（昆 暉雄）

復興企画課長。

○復興企画課長（甲斐谷芳一）

全員協議会でもご説明したとおり、委託先として観光協会を想定しておりまして、進めているところでございます。観光協会とお話をしながら有効活用、観光宣伝をしてまいりたいと考えているところでございます。またいわゆるコンテンツについては議員おっしゃるとおりさまざまな方の協力を得ながら発信をしていきたいと考えているところでございます。

○議長（昆 暉雄）

8 番。

○8 番関 清貴議員

よく説明を受けているのでわかりますが、できればいろいろな民間のほうの知恵とかそれらを拝借しながら、この駅舎が三陸鉄道の駅として利益も上げられるよう、また町の観光発信ができるような、そのような施策についてもいろいろ関係機関と情報交換しながら進めていただきたいと思います、その辺についてお伺いいたします。

○議長（昆 暉雄）

復興企画課長。

○復興企画課長（甲斐谷芳一）

先ほど答弁したとおりです。観光情報の発信でございますので、さまざまな情報を皆さんから得まして発信をしていきたいと考えております。

○議長（昆 暉雄）

ほかにありませんか。4 番。

○4 番黒沢一成議員

全協のとき他の議員から出た話なのですけれども、山田の駅舎に関してはこれでいいと思うのですけれども、船越、織笠、豊間根の駅舎に関してですけれども、第1条は当てはまらないかもしれないのですけれども、第2条以降に関しては必要なものであると思うのですけれども、あとの3つの駅舎に関してはどう考えているのかお願いします。

○議長（昆 暉雄）

復興企画課長。

○復興企画課長（甲斐谷芳一）

全協でもご答弁さしあげましたけれども、現時点では、そのほかの駅舎については、駅舎というより待合所でございますので、駅舎機能はないというふうに考えております。条例を制定するののかどうかについては、現時点では条例は制定せずに通常の管理で進めていきたいというのが現時点での考えでございます。

○議長（昆 暉雄）

4番。

○4番黒沢一成議員

条例制定しない場合には、第3条とか第4条ですかね、万が一破損等あった場合にはどのような扱いにするのでしょうか。

○議長（昆 暉雄）

復興企画課長。

○復興企画課長（甲斐谷芳一）

役場の施設でございますので、当然そういった事案があれば賠償してもらおうと。これはどこの施設においてもそのような取り扱いになっていると承知しているところでございます。

○議長（昆 暉雄）

ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（昆 暉雄）

質疑を終わります。

討論ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（昆 暉雄）

討論なしと認めます。

これから議案第1号 陸中山田駅舎条例を採決します。

本案は原案のとおり決するにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（昆 暉雄）

異議なしと認めます。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

○

○議長（昆 暉雄）

日程第4、議案第2号 平成30年度山田町一般会計補正予算（第5号）を議題とします。

提案理由の説明を求めます。財政課長。

○財政課長（古舘 隆）

議案第2号 平成30年度山田町一般会計補正予算（第5号）について、ご説明いたします。

今回の補正予算は、船舶発着所の整備について県補助金の交付内示を受けたことから、事業の進捗を図ることを目的に補正予算の編成を行ったものであります。

歳入歳出予算の補正では、歳入歳出予算の総額にそれぞれ398万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ401億5,874万1,000円としようとするものであります。

5ページをお開きください。初めに歳入であります。10款1項1目地方交付税132万9,000円の増額は、1節普通交付税の増によるものであります。これにより、平成30年度の普通交付税の予算計上額は27億7,832万1,000円となるものであります。

15款県支出金、2項県補助金、5目商工費補助金265万7,000円の増額は、2節地域経営推進費補助金の増によるものであります。

次に、歳出であります。7ページをお開きください。7款1項商工費、4目観光費398万6,000円の増額は、15節船舶発着用浮棧橋製作工事費の増によるものです。

最終行をごらんください。以上のとおり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ398万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ401億5,874万1,000円としようとするものであります。

よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○議長（昆 暉雄）

歳入歳出一括質疑を許します。4番。

○4番黒沢一成議員

この浮棧橋はどこに設置するものなのでしょうか。その用途はどのような形なのでしょうか。

○議長（昆 暉雄）

水産商工課長。

○水産商工課長（武藤嘉宜）

浮棧橋の設置場所でございますが、山田漁港の荷捌き所の北側のほうになります岸壁に設置する予定としてございます。それから、使う目的でございますが、マリントゥーなどの体験、あとイベントで船舶利用する際に利用する方が安全に乗降できるようにというような目的でつくるということでございます。

○議長（昆 暉雄）

4番。

○4番黒沢一成議員

先日のサケまつりのときにも周遊に使っていたかと思うのですけれども、そのときも棧橋のようなものがあったかと思うのですけれども、あれとはまた別ということなのですか。それともあれは仮の

ものということなののでしょうか。

○議長（昆 暉雄）

水産商工課長。

○水産商工課長（武藤嘉宜）

今議員おっしゃられたサケまつりの際の栈橋、あのときの状況を利用が不便だということなのですが、あの栈橋につきましてはT F Cさんでお持ちの栈橋をイベントの際に借り上げて利用しているということでございます。

○議長（昆 暉雄）

4番。

○4番黒沢一成議員

今度つくる浮栈橋はずっと設置したままという形なののでしょうか。有効に利用していただければそれでいいことなのですかけれども。

○議長（昆 暉雄）

水産商工課長。

○水産商工課長（武藤嘉宜）

先ほどお話ししました設置場所に基本的には常設で利用するというふうに考えてございます。

○議長（昆 暉雄）

ほかにありませんか。11番。

○11番菊地光明議員

私から二、三聞きたいのですが、まず最初に財政課長さんから、第4号補正してから1カ月で第5号の補正になったのですが、この1カ月間で何があって、緊急性で出していると思うのですが、その緊急性という定義を教えてください。それからこの事業完成まで、今設置場所はわかりましたけれども、運用もわかりましたが、完成までの工程はどのような計画になっているのかをまず教えてください。

○議長（昆 暉雄）

財政課長。

○財政課長（古舘 隆）

それでは補正予算の緊急性についてお答えします。12月の補正につきましては、実質各課からの予算要求、ヒアリングで予算案のとりまとめに約1カ月ほど費やしております。今回の県補助金につきましては、県のほうから12月ころに打診があったということで、12月の定例会にはどうしても間に合わなかったという形で事業の内容を精査した結果、今回の臨時会での補正に対応ということになりました。

以上です。

○議長（昆 暉雄）

水産商工課長。

○水産商工課長（武藤嘉宜）

2点目の今後の工程でございますが、本日議決をいただいた後に手続きを進めまして、今指名競争入札で手続きを進めようとしてございます。製作期間等含めまして、目標は3月の下旬完成というふうに考えてございます。

○議長（昆 暉雄）

11番。

○11番菊地光明議員

今財政課長さんから12月定例会に間に合わなかったということで緊急性があるのではということですが、私は実は今度の臨時議会が遅くても昨日までに行われるのではないかなと思っていました。というのは、昨日私は、町長さんも出ていますけれども、防犯協会の臨時総会に出ました。臨時総会に新しい皆さんが守る民営交番ができるのの山田町の補助金が150万入っていました。山田町の議会に議決されないものが、提案をされて議決になりましたが、本質的にそれらが緊急事項であって、それらを出さないで何でこんなものを出すのだかと、そっちのほうの皆さんが安全安心を守るほうがもっと大事で、私はなぜそれを除いて今度の補正予算を組んだのかと。私には納得できません。当然次は3月議会に出すのでしょうけれども、こういう防犯協会さんの大事なものを多分これに出ているということは、山田町と協議していると思うのです。町として何でこれを優先的にしないのか。私は全然納得できません。同じ会議に出ていました某役場OBさんの区長さんから、聞きたいけれども、いやちょっと待ってください、私は明日議会があるので私のほうが聞きますからと、その場は何ともしないで治めましたけれども、私は納得できない。本当に皆さん方が言っているこれには町の議会からもいろんな要望があったので早くしたいという、民間交番山田地域安全センターをつくるということなのですが、これらについても当然1カ月あったらできたのではないですか。案内が来ているのは3週間前です。その間何もしなかったということは私はちょっと納得できないので説明をお願いします。それと3月下旬にできるという指名競争をして、本当に2カ月で完成するものなのですか。私はちょっと心配しています。別に悪い意味ではなく。こういう大事なものが2カ月でできるのかどうか、そして設置をするということですよ、その設置方法はアンカー方式にするのか何方式にするのかも全然説明がないので、私が心配しているのは隣に監査委員さんもいますけれども、4月の第2週、わかりやすく言えば4月の7日以降は、監査委員さんが補助対象事業については現地確認をします。現地検査の対象案件になっています。このように1つだけ出ると、みんなが注目してしまうので、4月の7日以降に現地に行きました何もできていませんというの私は心配しているのです。これがいっぱいだと監査委員さんたちも調べるのあれだけれども、これ1つだけだと本当に目につくのですけれども、本当にここで言っているようにできるのですね。それらもちゃんと確認しておきたいと思います。

○議長（昆 暉雄）

町民課長。

○町民課長（川守田正人）

昨日の防犯協会の臨時総会のことで議員からご指摘がありました。確かに昨日の防犯協会の臨時総会で予算の確約がない、議会の議決を得ない補助金を防犯協会の予算に計上したということは議員ご指摘のとおりであると認識しております。ただ、今回の民間交番の設置につきましては、設置の可否について代議員から意見を聞いて議決することがまず第一であろうということを考えた結果で、そのようなことで進めさせていただきました。民間交番の設置の詳細、または予算等については、この後全員協議会で説明した後、3月の補正で提案したいというふうに考えておりますので、よろしく願います。

（「待つて議長、答弁になっていません。何で1カ月間の間にしなかったのかと聞いている。1カ月もあったのに何で今回の補正に計上しなかったのかと、その理由を」と呼ぶ者あり）

○議長（昆 暉雄）

町民課長。

○町民課長（川守田正人）

先ほども申し上げましたけれども、まずは民間交番の設置について行政区長である代議員の皆さんの意見を聞いた上で議決していただくというのがまず第一だろうという考え方でございます。その後、予算については……

（「予算についてはではなく、ちゃんと議案として予算案を出しているのだから、はなから出さなければいいのだけれども、出ているのだからそれはだめだろう」と呼ぶ者あり）

○町民課長（川守田正人）

予算については、今後説明した上で、3月の補正でというふうに考えているところでございます。

○議長（昆 暉雄）

水産商工課長。

○水産商工課長（武藤嘉宜）

2つ目の質問のほうになります。まず浮棧橋の設置は先ほどのところで常設というお話でしたが、ロープ式で係留を考えてございます。それからご心配のあった製作は間に合うのかということですが、議員ご心配のとおり確かにぎりぎりではございます。ただ製作期間につきましては、40日程度で可能というふうに考えてございますので、年度内に完成させるということ考えてございます。

○議長（昆 暉雄）

11番。

○11番菊地光明議員

今のこの議案にないので防犯協会のやつはちゃんと議案書として出しているのを今から議員の皆さん方に相談するというのは、いかにも議会軽視甚だしいのではないですか。通らないものを議決させておいて議決したからこれから皆さん方に相談してやります。そういうのは本当に議会軽視です。私が言っているのは別にそういうことではなく、せっかくこういう補正予算を出すのであるから、急いでいるから防犯協会としても今までかつてない臨時総会というものを開いているのだから1カ月もあつたら何でそれをできなかったのかと。それを聞いているのです。そうするとこれから説明するのではなく、これは何でみんなに急いでやっているのに、皆さんを集めているのに何でそれができなかったのかということなのです。やはりこれを見ると議会からのあれだし、町長が言っているとおり交番の中心的役割をとということで、急いでやるということを書いて、それはいいのです。であるのであれば、皆さんから納得してもらってやったほうがいいと思うし、今からやって3月補正までやるということは、それまでは工事はしないということです。予算がないところでやれるはずがないのだから。だから私は予算がないところではやれないために、予算をこれわざわざ議決しているはずなのです。そうしないとできないので。であれば、ちゃんとやっておかなければならないのではないかということなのです。これ議決していますので、課長は議会に説明すると言っていましたけれども、防犯協会のほうにはもう山田町の補助金は決まったのでやりますよという議決しているのです。これに載せるべきだった。それだけを教えてください。それから3月、ロープ式はわかる、ロープとめるのを錨でやるのかとアンカー方式か何かと聞いているのです。それによって、ロープ方式ってロープをただ浮かべておくだけではない、アンカーでとめるのでしょうか。それによって全然工法が違うのです。私たちが覚えている浮棧橋は通常アンカー方式って4本の杭を出して波で上がったり下がったりするのが私たちが通常知っている浮棧橋です。それを今回は別な方式でやるということでしょう。だからそれもちちゃんと説明しないと、ちゃんと水産商工課長だから浦の浜にある浮棧橋をわかっているでしょう、自分たちがつくっているから。浮棧橋というのはああいうものを浮棧橋と言うのですよ。ただただロープで固定も何もしないでその場限りでは浮棧橋と言わないで、恒久的なものだと言うからそれではよかったと思ったし、ただ単にその場その日その日で使うのであれば、備品購入費でないかと思ったけれども工事請負費に来たからちゃんと工事として、ただの浮棧橋であれば備品購入費として備品で買えばよかったのかなと思ったけれども、工事請負費だということからそれらも詳しく教えてください。

○議長（昆 暉雄）

暫時休憩をいたします。

午前10時27分 休憩

午前10時40分 再開

○議長（昆 暉雄）

会議を再開いたします。休憩前に引き続き議案審議を行います。答弁を求めます。甲斐谷副町長。

○副町長（甲斐谷義昭）

2点についてお答えさせていただきます。まず最初に今回の補正では直接は関係ないのですが、補正の考え方ということで質問がありましたので、防犯協会の総会にかかった件について答弁申し上げたいと思います。防犯協会のほうでは協会の予算に関する補正も含めてですが、予算に関する件については総会を経なければならないというふうに規定されております。それなので担当課長は交番の設置費にかかる予算が必要だと、もしこれをやろうとするのであれば総会に諮らなければならないということで総会を開いたものであります。一方、11番議員の言っている防犯協会の総会に町からの補助金のことが計上されているが、議会軽視ではないかということなのであります。担当のほうでは議会が先か、あるいは総会の総意を得るほうが先かというふうに考えて、総会を経てから補正をとるというふうに考えたものであります。議会の議決を得て総会にとすると、これも見る立場、受ける立場ではどっちが先かなということになるというふうに考える方もおられるわけですので、そこを今回は総会のほう先じてかけたということでご理解をいただきたいと、ただ、いろいろ工夫、反省すべき点もありますので、今回はそのようなことでご理解を願いたいと、内容については、民間交番の設置ということで大変いいことであるなという案件ですので何とかご了承いただきたいとそうふうに思います。

それからポンツーン、浮棧橋の件であります。浮棧橋ですのでアンカーで固定するようになります。メンテナンスで陸上等に上げる場合もありますので、やっぱりアンカーで設置ということになるかと思えます。なお、工事請負費に盛ったのは、ポンツーンの材質、既製品のものではない材質の一部に使って、そして寸法等も独自の寸法で考えていることから工事請負費で盛って製造すると、このような考えで工事請負費といこととでございます。

以上です。

○議長（昆 暉雄）

12番。

○12番山崎泰昌議員

1点だけ、今回ここにこの浮棧橋を持ってきた。設置場所が本当にあそこで正しくていいのかどうか1点目。

それともう1こは、つくりました、では今度の早ければ5月の連休、またあとは夏になったら海水浴できるのかできないのかわからないけれども、そういうふうなことまで見込んでここに持ってきたのかどうか、そこを教えてください。

○議長（昆 暉雄）

水産商工課長。

○水産商工課長（武藤嘉宜）

まず1点目の設置場所を山田漁港ということとございますが、ここにつきましては三鉄の陸中山田

駅ができた後、アクセスが一番よいのが山田漁港ということになりますので、体験観光等のイベントを含めて一番利用しやすい山田漁港というのを考えました。それから、今回の補正で早めた理由というのは今議員おっしゃられたとおり、当初は31年の当初予算に計上して進めるつもりでございましたが、先ほど財政課長からありましたようにタイミングが合ったということでございますので、ぜひ年度内に完成させてそういった使い方を早くしたいという思いで今回計上ということになりました。

○議長（昆 暉雄）

12番。

○12番山崎泰昌議員

1点目のところは、私利便性とか使い勝手のよさを考えるのであれば伝作のほうがいいのではないかと思うのだけれども、駐車場もいっぱい取れるし、船の動くのも少なくて済むし、湾内に入れてしまうと、何かあったときには漁民の人たちに邪魔にされるおそれもあるし、その辺のどうしてもつくってしまえば占有してしまうから、そこいらのことは考える余地があるのではないかと思うし、あと2点目は、船をちゃんと稼働する準備ができていないのか。それを聞いているわけ。こういうふうなのに使いますよというのはわかっているけれども、ではそれが本当にできるのかできないのか、できるためにつくったとは思っているけれども、そこは確認だから。

○議長（昆 暉雄）

水産商工課長。

○水産商工課長（武藤嘉宜）

まず1点目の件につきましては、議員おっしゃるのもあるかなと今実はあくまで陸中山田駅からの場合を考えたときに、歩くということに想定したときに、アクセスが一番いいのは山田漁港に近いところというふうに、まず考えていたものでございます。それから船のほうにつきましては、確かにマリントウなどの場合、体験観光は漁船も含めた船舶の利用ということになってございますが、一方で、昨年からは議員様のほうから海童丸の利用というのも出てございまして、そこにつきましては、現在検討を進めております。条例の制定の準備も含めて今行っておりますので、そういった準備、説明等が整い次第、改めて議員の皆様には説明をするということで今考えてございます。

○議長（昆 暉雄）

12番。

○12番山崎泰昌議員

1点目は意見としてもいいからそこはいいのだけれども、2点目のその答弁は船がちゃんと稼働できないに棧橋つくったって意味がないのだから、ちゃんと船長も見つけて、そういうことをして準備万端ですよというのが出てこないと、つくって、はい、それで終わりでは困るので、そのところはよく検討しておいてください。これは要望でいいですから。

○議長（昆 暉雄）

8番。

○8番関 清貴議員

私からは5ページの地方交付税、普通交付税が132万9,000円、今回盛っているわけですが、普通交付税、まだまだ予算が歳入として何回も計上するのか、これをお聞きしたいと思います。それとも今回の財源として利用するために普通交付税132万9,000円を入れたのかどうか、そこを確認したいと思います。次に、先ほど来、皆さん議論しているとおりの船舶発着用浮棧橋なのですけれども、この管理運営については、町がやるというようなのは先ほど来の答弁でわかるのですけれども、まず中心となるのが、マリンツーリズムなどの船が利用するのか。あといろんな申し込みがあれば、発着を認めるのかどうか、その辺をお聞きいたします。

○議長（昆 暉雄）

財政課長。

○財政課長（古舘 隆）

普通交付税についてお答えします。普通交付税につきましては、交付決定がなされたわけで今回の補正で計上した残り、留保分おおよそ9,400万ほどございます。これにつきましては3月の補正で対応したいと考えております。

以上です。

○議長（昆 暉雄）

水産商工課長。

○水産商工課長（武藤嘉宜）

2つ目のほうになります。まず管理につきましては、議員おっしゃるとおり町で管理をしていく予定で進めてございます。それから利用につきましては、先ほど来お話しております、マリンツーなどで体験観光で船舶等の利用があるというのを先ほどお話ししたとおり現在は岸壁から直接乗るのが危ない状況にもありますので、安全に乗降してもらうという考え方も含めて、そういった利用の仕方については町の船も含めてする予定でございます。

○議長（昆 暉雄）

8番。

○8番関 清貴議員

そうすれば、先ほど来からの質問内容と答弁内容でまず私わかったのはマリンツーリズム等に利用すると、あとはサケまつりのときに使うのに利用するというのはわかったのですけれども、それ以外の利用について、考えられるのか、考えられないのか。考えられるために多分これを整備するのだとは思っているのですけれども、その辺についてまた再度お伺いいたします。

○議長（昆 暉雄）

水産商工課長。

○水産商工課長（武藤嘉宜）

今議員おっしゃられたとおりで、まず既存で今使っておりますマリントー等の対応、それから町の所有している船でのイベントというのがございますが、それらに対応するのはそれぞれ臨時で航路をその都度設定しているというの也有りますので、そこを従来からのご質問でありますとおり、もっと利便性を上げろというところでの利便性も含めた使い方については、議員おっしゃるとおりこれらも含めた使い方を進めていきたいというふうに考えております。

○議長（昆 暉雄）

8番。

○8番関 清貴議員

そうすれば、山田湾内、釣り船がどれくらいあるかわかりませんが、釣り船のお客さんたちの発着場所としても利用が可能なのか、今それを考えていないのかどうか、その辺最後お聞きして終わりたいと思います。

○議長（昆 暉雄）

水産商工課長。

○水産商工課長（武藤嘉宜）

最後の釣り船の利用ということについてでございます。こちらにつきましては、現在、山田の観光に関係した部分での利用というふうに考えてございまして、現時点では議員がおっしゃられた部分について、考えは今のところ持っておりません。

○議長（昆 暉雄）

ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（昆 暉雄）

質疑を終わります。

討論ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（昆 暉雄）

討論なしと認めます。

これから議案第2号 平成30年度山田町一般会計補正予算（第5号）を採決します。

本案は原案のとおり決するにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（昆 暉雄）

異議なしと認めます。

よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

○

○議長（昆 暉雄）

以上で本日の日程は全て終了しましたので、これをもって閉会といたします。

午前10時52分閉会